

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2000-5398(P2000-5398A)  
 【公開日】平成12年1月11日(2000.1.11)  
 【出願番号】特願平10-175804  
 【国際特許分類第7版】  
 A 6 3 F 7/02  
 【F I】  
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成16年7月23日(2004.7.23)  
 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

遊技盤に設けられた図柄表示装置と、  
 前記遊技盤に設けられた始動口と、  
 パチンコ球が前記始動口に入球することに基いて前記図柄表示装置に複数の図柄を変動表示する手段と、  
 パチンコ球が前記始動口に入球することに基いて大当りカウンタ値を取得する手段と、  
 大当りカウンタ値の取得結果を数値と比較することに基いて大当りおよび外れを判定する手段と、  
 大当りの判定時および外れの判定時に大当り図柄および外れ図柄を設定する手段と、  
 大当り図柄および外れ図柄として停止順序が最終の図柄を除く残りの図柄が同一のリーチ図柄が設定されたときにリーチ図柄を停止状態で縮小表示して最終の図柄を変動状態で拡大表示する手段と、  
 最終の図柄の停止後に最終の図柄を拡大前の大きさに縮小表示し、リーチ図柄を縮小前の大きさに拡大表示する手段と  
 を備えたことを特徴とするパチンコ機。

【手続補正2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0003  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【0003】

【課題を解決するための手段】

本発明のパチンコ機は、遊技盤に設けられた図柄表示装置と、前記遊技盤に設けられた始動口と、パチンコ球が前記始動口に入球することに基いて前記図柄表示装置に複数の図柄を変動表示する手段と、パチンコ球が前記始動口に入球することに基いて大当りカウンタ値を取得する手段と、大当りカウンタ値の取得結果を数値と比較することに基いて大当りおよび外れを判定する手段と、大当りの判定時および外れの判定時に大当り図柄および外れ図柄を設定する手段と、大当り図柄および外れ図柄として停止順序が最終の図柄を除く残りの図柄が同一のリーチ図柄が設定されたときにリーチ図柄を停止状態で縮小表示して最終の図柄を変動状態で拡大表示する手段と、最終の図柄の停止後に最終の図柄を拡大

前の大きさに縮小表示しリーチ図柄を縮小前の大きさに拡大表示する手段とを備えたところに特徴を有している。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

上記手段によれば、リーチ画面上で停止したリーチ図柄が小さくなり、変動中の図柄が大きくなるので、図柄の変動画面からリーチ画面に発展したことが明確になる。しかも、限られた大きさの画面の中で変動中の図柄が目立ち、変動中の図柄が何で停止すれば大当りになるかが明確になるので、総じて、遊技のおもしろさが高まる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

【発明の効果】

以上の説明から明らかなように、本発明のパチンコ機によれば、リーチ画面を表示するにあたって、停止したリーチ図柄をリーチ前より小さくし、変動中の図柄をリーチ前より大きくした。このため、図柄の変動画面からリーチ画面に発展したことが明確になる上、限られた大きさの画面の中で変動中の図柄が目立つようになるので、遊技のおもしろさが高まる。